

僕は妻が寝取られ

何度も

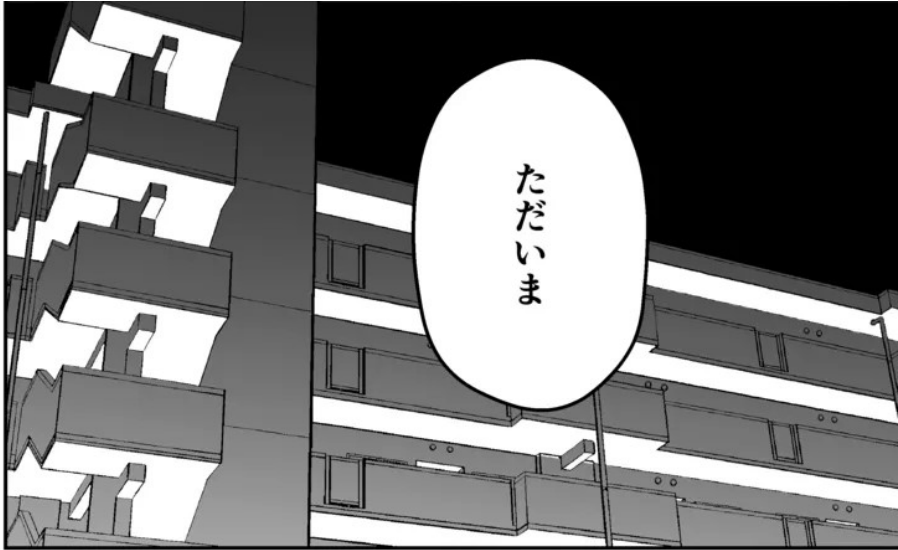
イカされる姿を見続けた。
4上






間男に妻を寝取られ
奪われて一年が経つ





ただいま

帰宅は仕事で
遅くなることが多い



毎日毎日
上司に媚売って
おもねって

最悪な日々だ

そんな僕に
誇れるものなど
何もない



ただ生きてるだけ

終わってる存在だ

妻との連絡は
いまだに取れない

またな!!

かすみ
連絡待ってる。



依田 大地

OK

倉田 勇

スタン

もしかして
帰って来るかもと
希望は消えない



だからこの部屋を
手放すつもりは無い

とはいえ
ローンの返済のため
再就職した会社には
行くようにしている

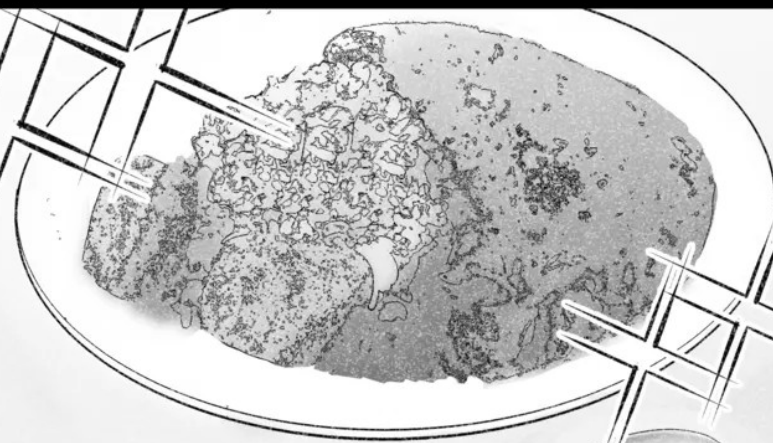


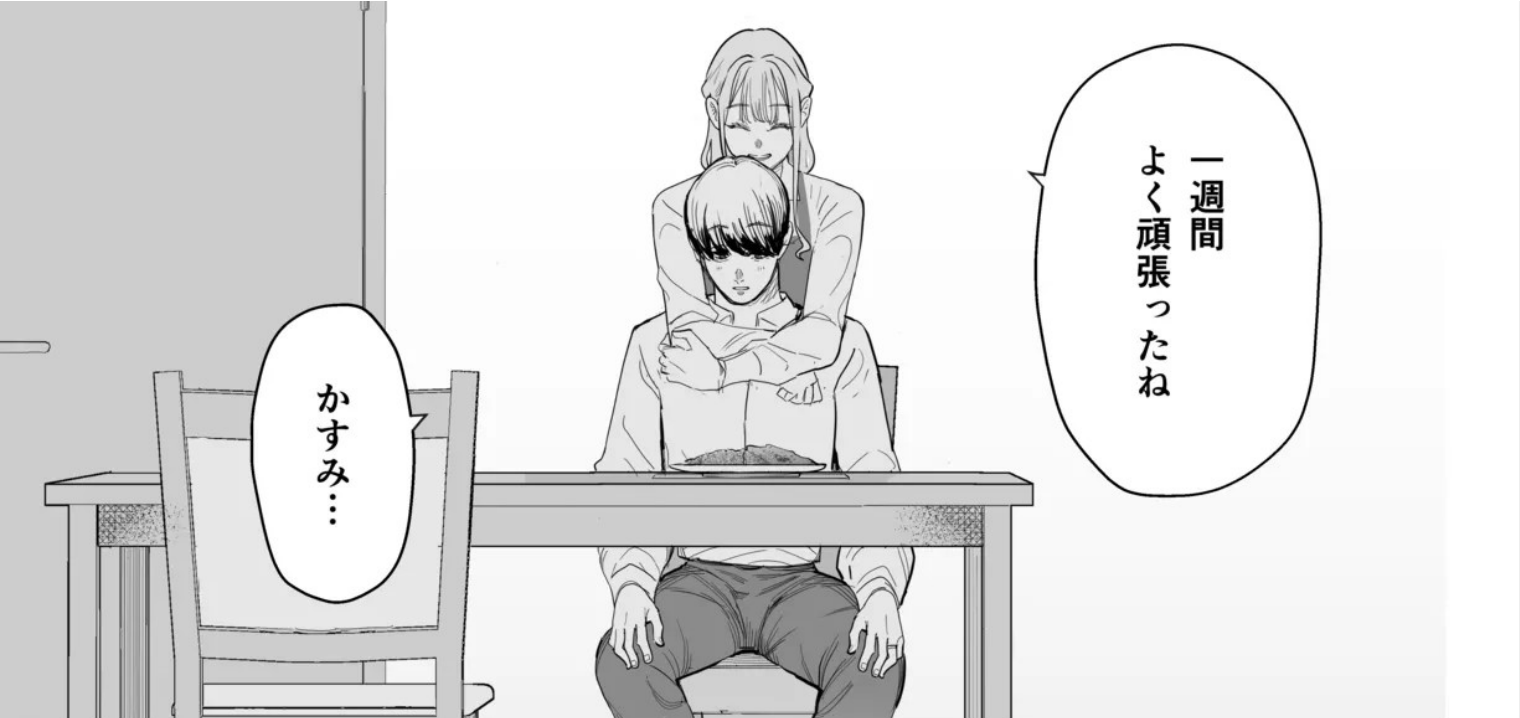
妻の
手料理が
恋しい:



はい
お待たせ

今日は
カレーだよ





かすみ...

一週間
よく頑張ったね



ありがとう

あの頃の僕は
仕事にかまけて
何度も夕食を
断った…

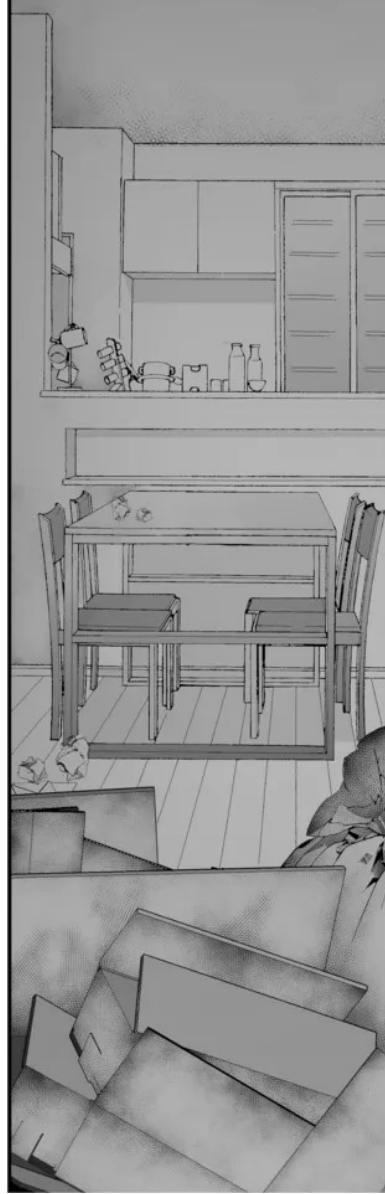
かすみ…

いつもあそこに
立っていたっけ…



大切な人の
「ありがとう」が
何より僕を
満たしていた

寂しい思いをさせた



「かすみのため」と言い
仕事を頑張っていたが

本当は妻のため
なんかじゃなかった
のかもしれない…

仕事を
溜め込みたくない



上司や客に
いい顔をしたい

出世したい

結局は自分の保身
自分の為

そんな腐った
考え方を妻に
見透かされた



もっと妻の心に
寄り添えていたら…



間男の所に行つて
しまったことは

当然の結果だった
のかもしれない



セックスレスになつていたのが嘘のように興奮する

ヒキヒキ



悔しい…

あっ♡

あん♡

でも

悔しければ悔しいほど妻が女として魅力的に映る



はじめて間男とのセックスを見たときから気付いていた

ああん
あっ♡

ミッ
ミッ

ミッ

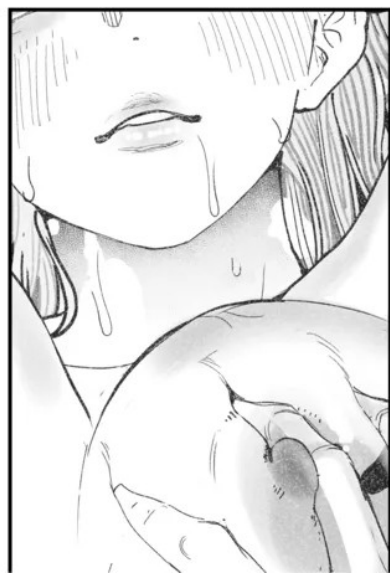
僕は変態だと…



かすみい…!!

はっ
はっ

はっ



かすみ…!!



かすみ...

かすみ...



かすみ...



もう一度
かすみに会いたい



死にたくなる

せつかくの休日も
西日でお目覚め…



奇跡が起きた



かすみだ…

彼女は以前より
綺麗になってそこにいた



ちょっと
飲み物買って
こさせてるんだ

!?



かすみは
お前のもとには
帰らないぜ

あいつは俺が面倒みて
幸せにするから



お前は…



返せ？

なにか
勘違いをしている
ようだな

かすみにしつこく
連絡してくるが
なんで出ないと思う？



ふざけるな

妻を返せ



はっきり言われた

気づいてはいたが
気づかないフリを
していたことを：



安心しろ
ちゃんと払うもんは
払うから

相場に
色つけてな

金なんか
いらな



その代わり…



ああ？



かすみの意思で
俺といるって
ことだよ

直人くん
から…

またかよ(笑)

出なくて
いいのかよ？

うん
大丈夫

それより
もっとしよ？



今度は生で
お前たちのセックスを
見せてくれよ

のぞくから

俺はいいが
かすみがいいとは
言わねえよ

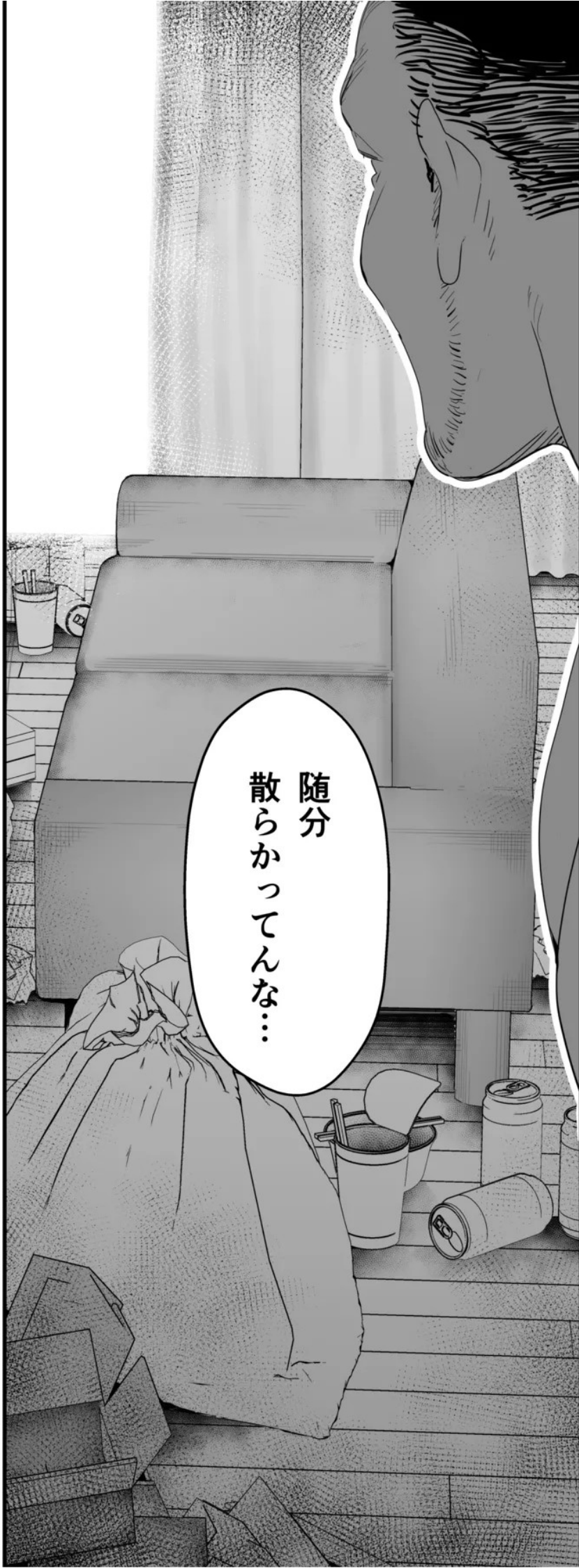
かすみには
バレない…

ソワ
…

真面目そうに見えて
とんだイカレ野郎
だったとはな…

どうだ…？

久しぶりの
我が家は…



アイツの家に来て
興奮してんだろ？



いや...

スツ

そんなこと
ない...

じんわり暖かいのが
股間に伝わってるん
だけど(笑)



はっ

はっ

ふっ

ふっ

ふっ

やだ

スキマに
入れないで



目が合っ…



足上げろ

Y字バランス
できたよな？

え？

濡れてないか
見てやるよ



は—
は—

いや
気にし過ぎか…

は—

そうだった…

妻は
学生時代にバレエを
頑張ってたんだっけ


綺麗だ…

正直感動した

人の身体って
こんなにしなやか
なんだ

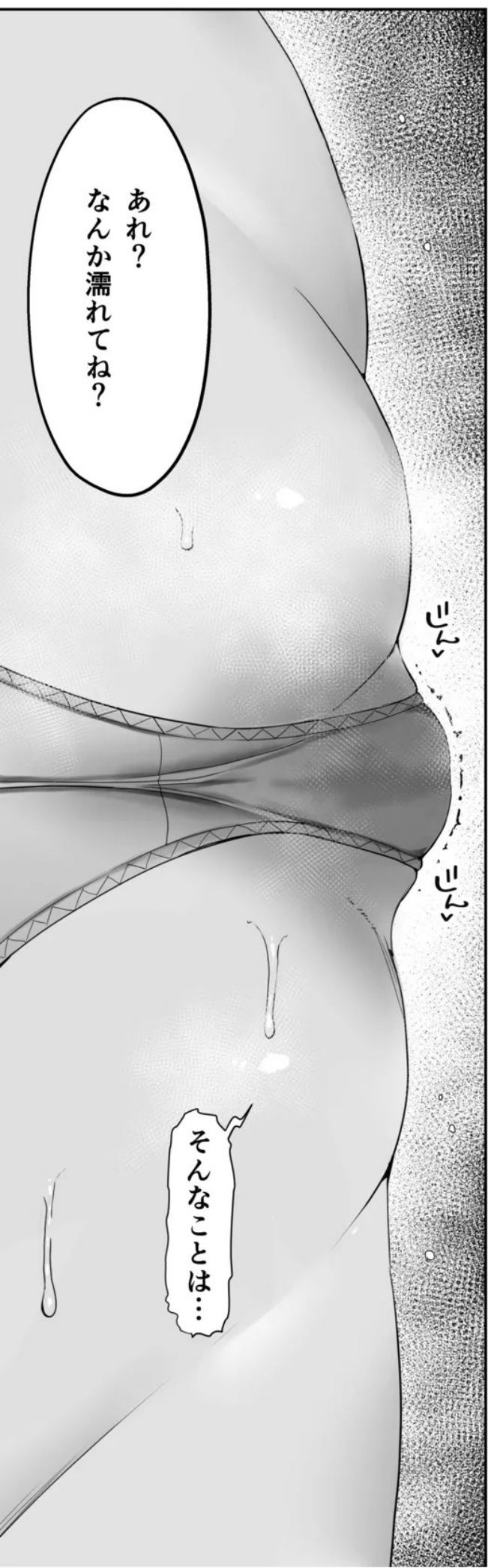
硬くならないように
ストレッチだけは
やってるんだ

うふふ
ちょっと
自慢かな



さすがバレエ経験者
めっちゃ綺麗じゃん

恥ずかしいわ…



あれ？
なんか濡れてね？

そんなことは…



僕の中で妻は
優しくて芯の強い
女性だから



どんなに裏切られても
妻にはこの状況に
流されないでほしいと
願ってしまう



おまんこ
おまんこ

おまんこ

おまんこ
おまんこ

おまんこ
おまんこ

おまんこ弱すぎ
速攻でイってんじゃん(笑)





だらしねえ
こんなに漏らして

やだ...
恥ずかしい...

おいおい
よく言うぜ(笑)

やはり流されて
しまう妻に
ガツカリする
自分がある

でももっと
女としての妻を
見ていたい

ほら
かすみも脱げ
俺のも気持ち良く
してくれよ

間男を悦ばす
ために

乳首を舐め

おちんぽいどん
硬くなってゐる♡

お

気持ちいい♡

おまんこ
気持ちいい♡

卑猥な言葉を
口にする

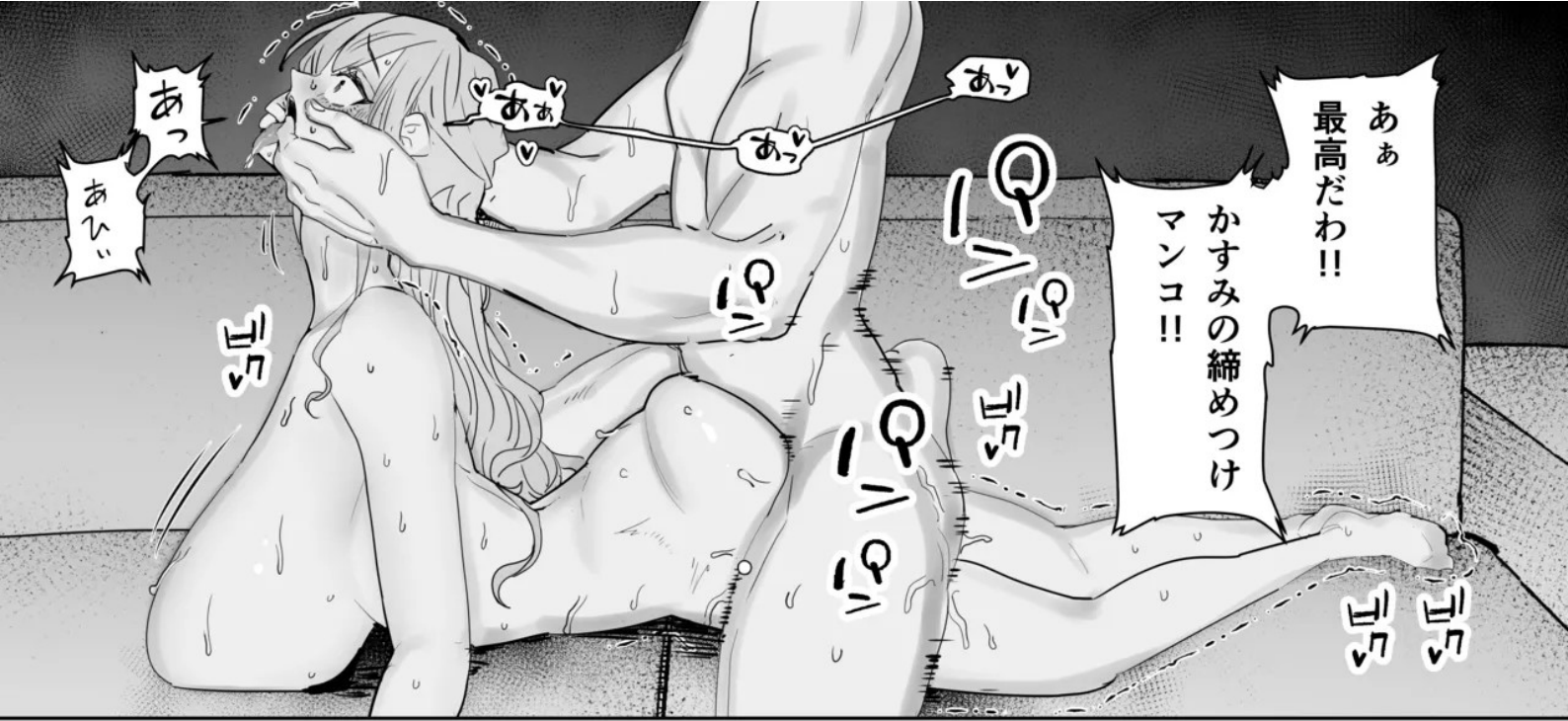
おちんぽい
おちんぽい

おちんぽい
おちんぽい

あの可憐だった
かすみは
どこにもいない

おちんぽい
おちんぽい





ああ
最高だわ!!

かすみの締めつけ
マンユ!!

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

マンユ

マンユ

マンユ

マンユ



かすみのケツ
えっろ!!

射精^だすぞ!!

あんっ

きもちっ

きもち

いっっっっ
♡

マンユ

マンユ

マンユ

マンユ

マンユ

マンユ







お願い…
後ろから突いて…



そこには
……

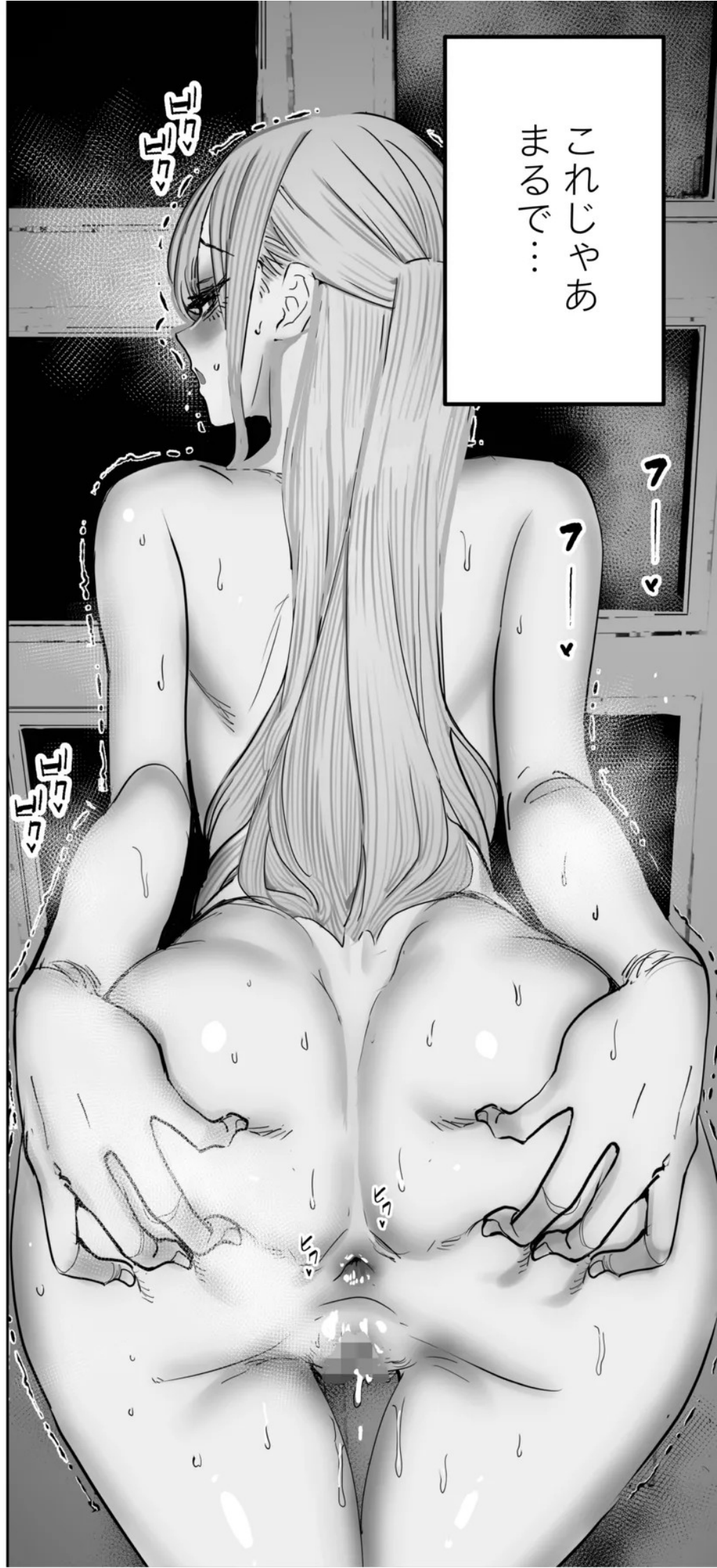
しょうがねえ
挿入れてやるよ



このドスケベ女
性欲強すぎ(笑)

あゝ

おれやっ



これじゃあ
まるで…

7
↓
♡

7
↓
♡



もう膣内
パンパンだろ

突くたびに
さっきの精子が
飛び出てくんぞ



間近で
見つめあった

快樂に溺れる
妻と



あーあ
愛液まき散らして…

床が
汚れてるぞ

俺が聞いたくから
旦那に謝るところか

アハハハハ…

はっはっはっ

あ

あ

おら
おんち

そんな小さな声じゃ
聞こえねえよ!!


アハハハハ…!!

ひぐう!!

絶頂する妻を
見つめながら

僕は射精した






過去を
振り返っても
そうだ

はじめて僕の家で
見たとき

僕の寝室に
入ってきたとき

ビデオレターが
送られてきたとき

僕は確信した：
妻がこの状況を理解し
ある種の興奮を
覚えていることを



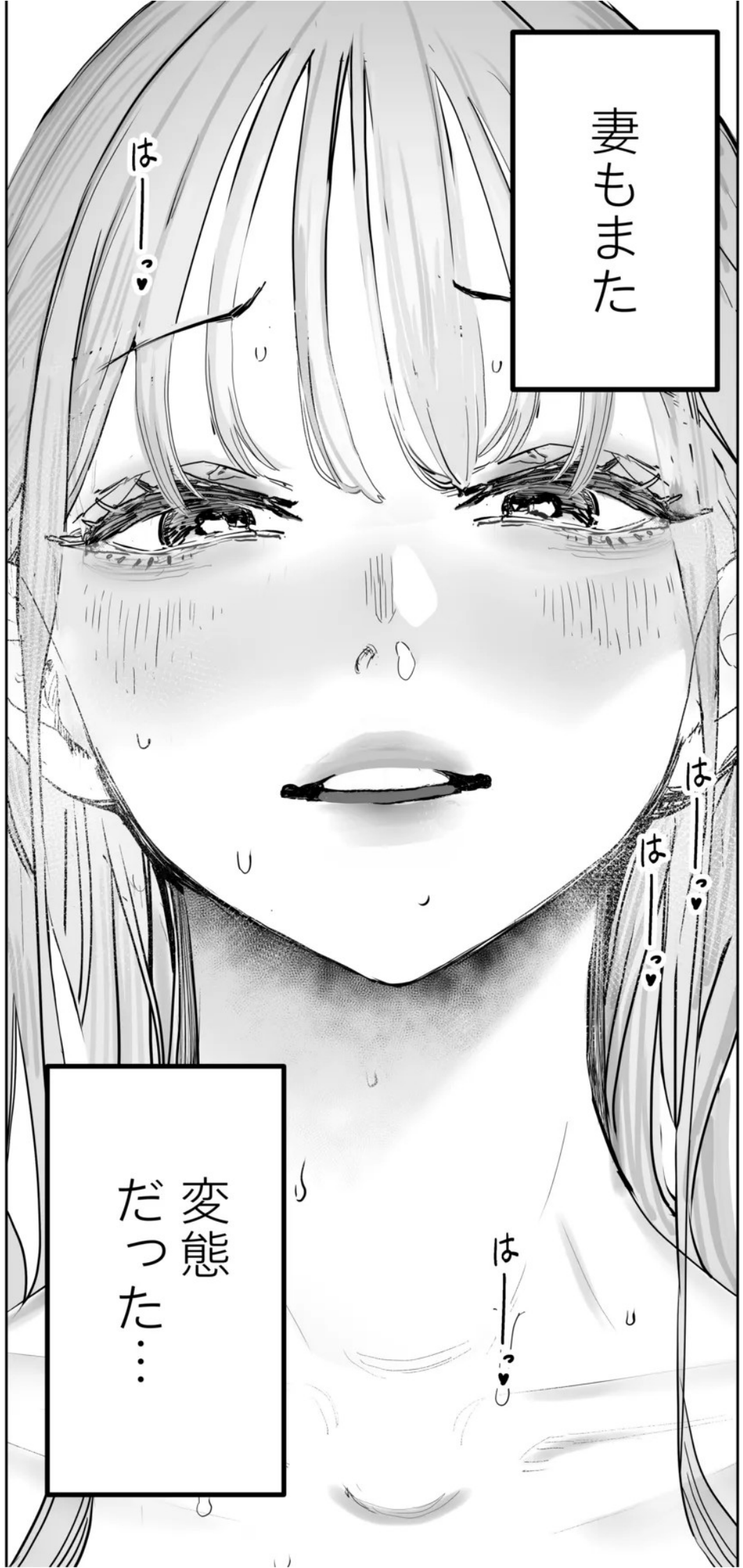
今思えば
流されたというには
どれも度を越して
激しく感じていたし
何度も絶頂していた



ぐっ...
うう



ガチャ



妻もまた

変態
だった...

は—っ♡

は—っ♡
は—っ♡

は—っ♡



なに
出てきてん
だよ…

お前が
のぞいてんの
バレちゃったぞ



しまった…



直人君…



ははは
コイツホント
変態だな

おいおいこのドアに
かかってんの精子？
ここで
射精してたのかよ



ごめんなさ〜...



もう...

いいんだ...

……!
!?




何度も
傷つけたよね

私は直人君を
傷つけてしまうから


これで
本当におしまい





私を
幸せにしよう

いつも頑張って
くれたね



妻が
僕に語り掛ける

悲しい最後の言葉を
伝えようとしているのかも
しれない

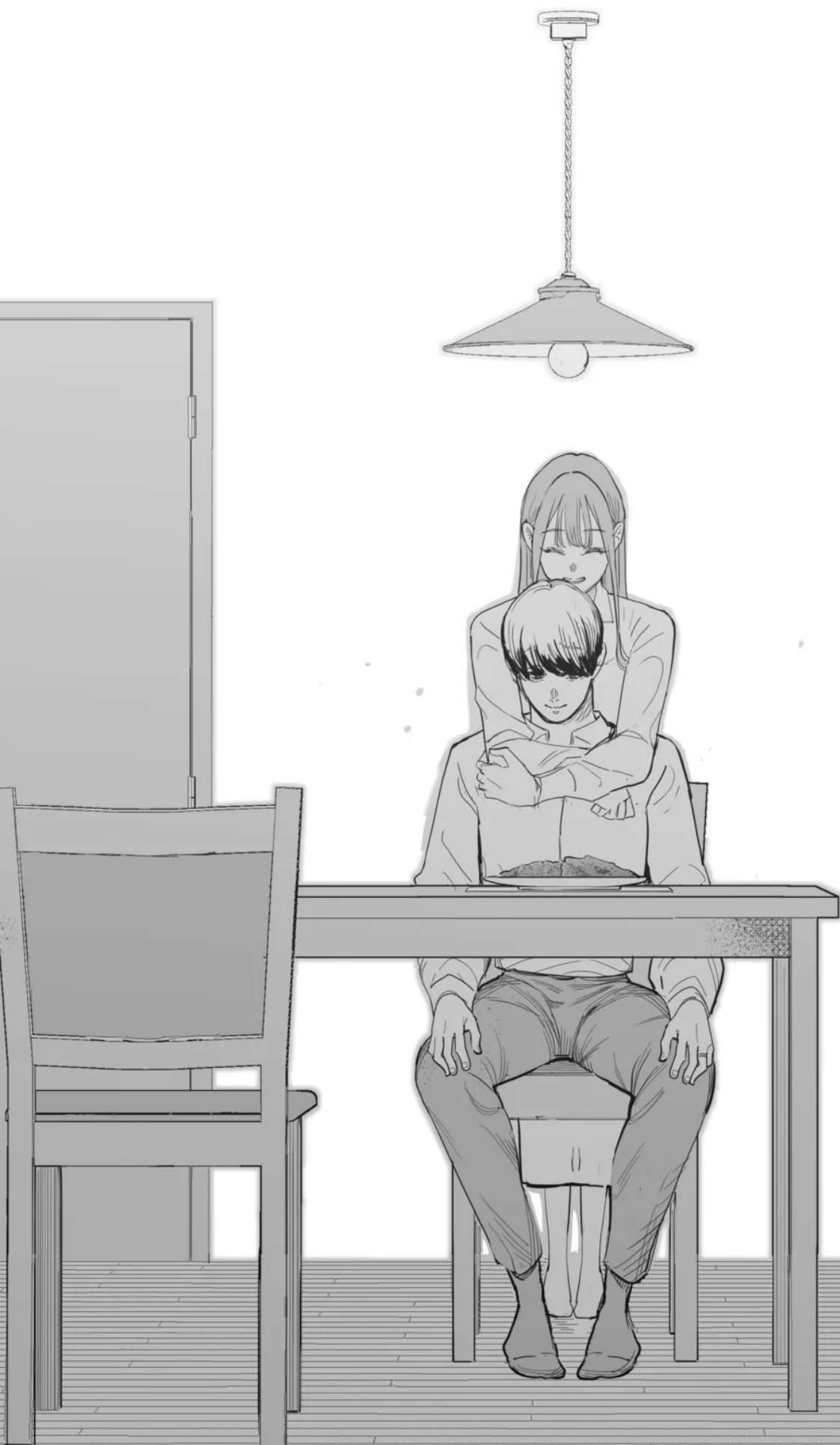
でも
その優しくて甘い声が
響くたびに

あの頃に
帰りたくなつた…



妻が僕の
クソみたいな日々を
支えてくれた
あの頃に

大好きな妻がいた
あの頃に



ありがとう



僕は妻が寝取られ何度もイカされる姿を見続けた。 4

著者 さんく
 三九

X <https://twitter.com/sanku2015>



